



山脇 紀子
市議会議員
フェイスブックで発信中

野良猫をふやさない 取り組みへの補助金 の創設を求める

山脇 野良猫への苦情はどうか。飼い主のいない猫の不妊・去勢手術推進事業補助金制度の創設を。
市民生活部長 昨年度は野良猫へのエサやり、糞尿による悪臭について7件の苦情があった。埼玉県では今年度より個人が行う飼い主のいない猫への不妊・去勢手術に対する費用の助成事業等を実施。こ

の県の制度を利用し、市として補助金制度を創設するには課題はあるが検討していく。
市長 課題の解決をはかりながら検討していく。県の補助であるが市の予算措置が必要となる。大変有意義な制度であると考えている。
◆特別支援教育の推進を
山脇 小・中学校の特別支援学級の増設を訴えてきたが状

況と今後の見通しはどうか。
教育長 今年度、東小、西小に特別支援学級を新設。次年度は東中に新設する。
山脇 日本共産党は県南地域での特別支援学校の増設を訴えてきたが検討はどうか。
教育長 県は知的障害特別支援学校の児童生徒数の増加による県南部地域の教室不足をカバーする方針。戸田市にある県立戸田翔陽高校の敷地内に、高等特別支援学校普通科を平成33年4月の開校を目指している。
◆核兵器禁止条約の批准をめ
山脇 北朝鮮による核・ミサイルの暴挙に抗議する。市民

の安全を守る市長の見解は。
総務部長 市民の平和への思いをふみにじり、市民の生命財産を脅かす行為として、断じて許しがたく、到底容認できないとの立場から核実験に対して市長名で抗議文を送り、強く抗議した。
山脇 核兵器禁止条約の採択を受けて、平和都市宣言を行っている市としての見解は。
総務部長 核廃絶へと向かう一方で、唯一の被爆国である我が国が核保有国と共にこの条約に参加しないことを表明していることは非常に残念。
◆ほかに「待機児童ゼロの対策」を質問しました。



鈴木 智
市議会議員
フェイスブック
ツイッターでも発信中

若い世代を対 象とした施策 の推進を

鈴木 高校生など青年層対象の意識調査を実施する考えはないか。また、この間の実績はどのようか。
総務部長 コンパクトシティ将来ビジョン策定時に高校生意識調査を実施した。引き続き若い世代の意向を市政に反映させたい。
鈴木 公民館などの青年向け講座の開催はどのようか。

教育部長 仕事帰りの方にもポットをあて、アクセサリーや料理の講座（夜間）などを実施。体育館ではボルダリングやトレーニングジムなど青年層にも魅力ある施設運営に努めている。
鈴木 以前の調査によれば、市内の高校に通う生徒の多くは市外から通学している。こうした高校生に、蕨市に親し

んでもらうことが重要。体育館利用や講座参加など高校を通してPRする考えは。
教育部長 ニーズの把握など周知方法を研究したい。
鈴木 市長の見解はどうか。
市長 青年のまちづくりへの参加は賑わいづくりにとって重要であり、市外から通う人に蕨市への愛着を持ってもらうことも意義がある。これまでの取り組みも成果を上げていくが、引き続き大切な課題として取り組んでいきたい。
◆留守家庭児童指導室の充実
鈴木 これまで指導員の研修参加拡大を求めてきたが、参加状況はどのようか。
健康福祉部長 県の資格取得

研修に9人、他の県等の研修に15人、市の研修に34人。資格取得者は20人。
鈴木 市職員も県の研修を受けているが、将来的には、保育の指導や相談に対応できる職員配置を要望する。
◆蕨駅東口の駐輪環境
鈴木 人通りの変化は。
市民生活部長 プライズ閉店前と比べ一日平均で平日7956人、休日6386人の減となっている。
鈴木 大型店舗開店に伴う人通り増で駐輪環境が心配。一時置き駐輪施設の設置が必要。出店業者と相談を。
市民生活部長 一時置き機能をもつ駐輪場を要望した。

暮らしを支えるあつたか市政進む 2016年度決算質疑

9月議会(9月1日～29日)は、条例案、補正予算案、決算認定など市長提出議案14件を全て可決・認定しました。

安倍政権の元で、実質賃金の要支援者が利用可能で、と家計消費は落ち込んだままです。一般会計決算で市民の平均所得は対前年比3万円増え244万円ですが、2000年度比では36万円も減っています。加えて、安倍政権で物価は5%上がっていますから、実質所得は下がり、市民の暮らしは依然として厳しい状況です。

市立病院は大幅に 経営改善

頼高市長は、こうした中、市民の暮らしを守りぬく姿勢を堅持し、主な施策として、国保税の値上げを抑えるための繰入金維持、市内事業者への発注増、アクティブシニア社会参加支援事業、学童保育の定員は16年度90人増(17年度4月でさらに150人増)、保育園の定員は60人増など、子育て支援を拡充しました。

病院会計決算は、内科と整形外科の常勤医が採用できたことなどで入院収益が増え、15年度の約6663万円の赤字から、16年度は約8681万円の黒字へ大幅に改善しました。地域連携の質疑へ、16年度に常勤看護師、ソーシャルワーカー、非常勤看護師の3人体制へ増やし、病院内外の情報提供を強めていると病院事務局が答えました。

従来相当の介護サー ビスを継続

介護保険会計決算では、要支援1・2の訪問介護と通所介護を市町村事業に移行する制度改定(新総合事業)などを質疑。新総合事業実施後も、従来相当サービスを、すべて

水道事業は安定運営

水道会計決算では、2年連続で収益が増えたこと、漏水を減らし有収率が過去最高の95.7%になったことなどで、約1億8046万円の黒字と、安定運営がおこなわれていることがわかりました。



来年4月から国保広域化―市民の負担軽減を

市議会議員
梶原 秀明
中小企業診断士
@KajiwaraHideaki

梶原 県の国保運営方針(案)への見解はどのようか。

部長 県方針には「赤字解消・削減の取組み、目標年次等」の記載があるが、蕨市として(市民の)負担を考慮し、法定外繰り入れを、削減すべき赤字としない取り扱いとすべきこと、「平成35年度までに赤字を解消する」との文言を削除するよう意見を提出した。

梶原 県の試算を当てはめると、平成35年度に市の収支差(法定外繰り入れ)は13億9千万円になる見通し。これは、従来規模(約8億円)の繰り入れをしても、約6億円の見直し(3割程度の値上げ)が必要という試算だ。繰り入れをやめればもっと値上げになる。従来規模の法定外繰り入れは、来年度以降も必要では

ないか。

部長 一定の法定外繰入金による(市民の)負担軽減は必要と考えている。

梶原 市長の見解はどうか。

梶原 市長の見解はどうか。国保の意義と、市民の暮らしを守る基本姿勢を堅持する。国の支援が不十分との考えは今も変わらないが、法が変わるも、税率の見直しは避けられない。しかし県が示した1.8倍(の値上げ)にするわけにはいかない。市民の負担増を抑制するため、一定の法定外繰り入れはする。

梶原 市民体育館の予約方法等に変更があり、市民に戸惑

いがあった。団体登録などでより詳しく個人情報を取扱うようになったが経緯はどうか。

部長 市民は市外利用者より料金や予約時期などに差(優遇)があるので、公平・公正のため、登録手続きで身分証の写しを提示いただいている。個人情報等は条例等に基づき、適切に管理している。

梶原 火の扱い・ごみ・騒音などが、違法民泊で問題となっている。分譲マンションでは管理組合が定めれば禁止できる。周知してほしい。

部長 国のガイドラインや県での説明会をもとに、本市の対応を検討したい。



蕨市で犯罪被害者の方への支援を 窓口設置を求める

市議会議員
宮下 奈美

宮下 今年の7月に強姦罪が強制性交等罪に変わり110年ぶりの法改正となった。犯罪の被害にあった方への支援をしてほしい。窓口を設置してほしいが考えはどうか。

市民生活部長 市としては、県のワンストップ支援センター(武蔵浦和に)あるからそこへつなげる。その後、センターから市への要請があれば、個別具体的な支援を行う。

宮下 副次的(二次)被害として窓口担当者の心ない発言がさらに被害者の(心の)傷を深めることが犯罪被害者基本計画でも指摘されている。本計画でも指摘されている。市職員の研修をしてほしいが考えはどうか。

市長 問題は承知している。市民が相談しやすいのは一番身近な自治体だということは

その通り。窓口相談に来た時にワンストップ支援センターにつなげるにしても、その後フォローできてよかつたと思えるくらいの取り組みが必要。寄り添えるような対応を研究して、着実に前進をさせていきたい。

◆錦町区画整理区域内の交通安全対策を

宮下 市民から「子どもが通っているところに車がスピードを出して交差点内に入ってきて心配」との声。元蕨法ケ田線と蕨中央通り線の交差点(順天堂治療院前)と、元蕨法ケ田線と錦町松原線の交差点(双葉酒店前)に信号をつけてほしい。県や警察との

関係で信号設置が難しくれば路面標示等何か工夫はできないか。

都市整備部長 元蕨法ケ田線と錦町松原線の交差点は交差する部分からの延長部分の(区画整理)工事が来年度も続く。一定の交通量が増加すれば信号設置も考えられる。元蕨法ケ田線と蕨中央通り線の交差点の信号設置は、警察からは現状の交通量ではまだ難しいと言われているが、注意喚起看板設置や路面標示を含めて警察と十分な協議を行い効果的な方法を実施していきたい。

◆他に外国人を支援するための担当部署等設置を要望

北朝鮮の核実験・ミサイル発射に抗議 全会一致で決議を採択

蕨市議会は、9月議会最終日、北朝鮮の核実験やミサイル発射に対して、「国連安保理決議に明確に違反する暴挙」「我が国をはじめアジア・太平洋地域の平和と安全を脅かすもの」として抗議する決議を全会一致で採択しました。

この問題で日本共産党市議団は、質疑や一般質問の中で北朝鮮の暴挙を糾弾。同時に、

戦争の危機を回避し真の解決を進めるうえで、対話の必要性を強調し、安倍政権のアメリカ力追随・軍事一辺倒の姿勢を批判しました。

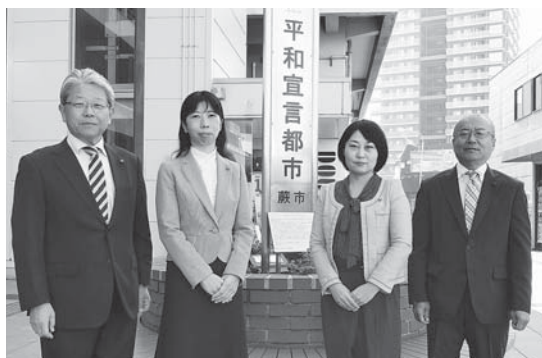
また、頼高市長は、「世界のあらゆる国の核兵器の廃絶を願う」平和都市宣言を行った蕨市の市長として、北朝鮮が核実験を行った翌日、9月4日に抗議文を送付しています。

市庁舎の整備方針 「現在地での建替え」を答申

10月15日、市庁舎耐震整備方針の検討を重ねてきた市庁舎整備検討委員会は、「市庁舎の建替えは現在地で行うことが最適」との答申を決定。答申を受けた市長は「市民に

も丁寧な説明をしながら、スピード感をもってすすめていきたい」と述べました。

なお、今年1月に発表された市庁舎整備検討報告書は5つの対応方針を検討し「現在地での建替え」が長期的なコストを抑制でき市民合意が得やすいと評価。事業期間を7年間としていました。



左から鈴木、山脇、宮下、梶原の各議員(蕨駅西口の蕨市平和都市宣言塔前にて)

お気軽にお声掛けください

日本共産党市議団の市民相談

11月 22日(水)
12月 6日(水) 20日(水)

時間: いずれも午後2時から
場所: 市役所4階 日本共産党市議団控室

相談無料 当日の電話は ☎432-3590